

横浜市音楽研究会 研究部 器楽 部会記録					
日時	令和4年 1月12日(水)				
部会名	研究部 器楽部会			主任	加藤 紫乃
参加数	9名	司会	加藤 紫乃	記録	上石 千鶴
研究 内容	研究部テーマ 音楽的な見方・考え方を働かせ、思いや意図をもって、協働的に学ぶ子どもの姿を目指して				
	器楽部会テーマ 楽曲の特徴や楽曲に合った音、音色 ^{おんしよく} をみつけ、音や音によるコミュニケーションを通して、自分の考えを広げ、豊かな表現を目指す器楽活動				
	○ミュージックセブン 提案 鶴見区 旭小学校 下江 昌也 先生 「もののけ姫」 久石譲 作曲 下江先生編曲 ・4学年教科書教材の編曲。学校行事（2分の1成人式）に合わせて学習を進めている。				
	○12月一斉授業研究会 研究の成果と課題 授業者：横浜市立谷本小学校 南澤 香里 先生 教材：「ルパン三世のテーマ」 大野 雄二作曲・柗 ゆきえ編曲 （授業者より授業の経過について） （質疑・応答）				
	<ul style="list-style-type: none"> ・合奏のとき、楽譜が読めない子どもへの手立てはどのようにしていたのか。 →各パートに一人くらい楽譜を読める子どもがいるが、記譜上の音と音盤を合わせることも難しかった。歌えないと、旋律を理解することが難しいと感じたので、リコーダーと鍵盤ハーモニカは演奏と歌う活動を両方取り入れた。 パート決めは、難しいパート（ピアノとボンゴ）から決めた。 ・授業を重ねるごとに、アコーディオンの音量が増していた。 ・旋律を覚えるときに歌う活動がとても有効だった。 ・子どもたちの学び合いの様子について →子どもの発言に周りの子どもがよく反応していた。子どもの発言や反応から授業を展開できるようにした。 ・休み時間の自主練習はどのくらい参加していたのか。 →他の学年も練習に来ていたので、5年生は週に2回くらいだった。抽出して呼び出したい子どもへは、個別に声かけをした。 ・指導することはしっかり教える必要はある。教えたことをどのように生かしていくのかを考えさせるとよい。 ・ピアノを習っていない子どもでもできる合奏指導を考えていく必要がある。 （指導講評 戸塚小学校 副校長 澁田 美穂 先生） ・子どもの言葉を通してつくる授業だった。 ・教師の問いかけに対して、歌って説明し合える子どもたちだった。 ・教師と子どもの学習の積み重ねがある授業だった。基礎基本がないと、引き出すことができない。 ・系統的な指導が大切である。 ・器楽の活動でも歌う活動があってもよい。演奏は難しいけれど、旋律や仕組みを理解することはできる。 ・授業は子どもがどのようにしたいかをくみ取ることが大切である。 ・次回の研究は「音色」をテーマにしてはどうか。 				

